

農業委員会だより

平成26年4月1日
第37号 田原市農業委員会
☎23局3519/FAX22局3817
<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/noui/>

豊橋市・豊川市農業委員会と

意見交換会を行いました

1月22日 田原市役所

意見交換会には、田原市農業委員会委員23名、豊橋市農業委員会委員21名、豊川市農業委員会委員4名が出席しました。主な内容は、次のとおりです。

◆農業委員会を取り巻く情勢について
(愛知県農業会議農政課長)

①農業委員会委員統一選挙に向けた女性の登用について

現在、愛知県内では93名の女性農業委員が活躍している。今年は統一選挙の年なので、女性の委員を増やすよう、関係機関に働きかけて欲しい。

②農地中間管理事業の推進に関する法律などの概要について

各都道府県に一つずつ「農地中間管理機構」を設立し、担い手への農地の利用集積、あるいは耕作放棄地の発生防止を行っていく。

③遊休農地対策の強化と農地台帳などの法制化について

農地法の一部改正により、遊休農地の所有者などに対して今後の利用に関する意回確認を行うことや、農地

台帳が法制化された。

●意見

●農地中間管理機構は、地域の実情を踏まえて、借り手を決めるべきではないか。

●農地中間管理機構が、農地の基盤整備などを行ってから、貸し付けることが必要だ。

●農地中間管理機構と農業委員会の事務分担など、課題が多い。



◆農業用燃料資材の高騰対策について
(田原市農業委員会事務局)

農林水産省の燃油価格高騰緊急対策の具体的な支援内容や、取組状況について報告をしました。

また、いち早く省エネ設備を導入し、効果をあげている田原市農業委員から、事例報告がありました。

●意見

●当初は今のような補助制度はなかった。先進的な取り組みは、国の補助制度にあてはまらないことが多い。

◆農業委員の資質向上のための研修について
(豊橋市農業委員会事務局)

農地法関係の研修会や視察などの活動について、報告がありました。

●意見

●田原市の農業委員は、農地関係の審査事務が多く、なかなか研修などが実施できていない。

●農業振興を図る上で、東三河地域が一体となって考えていくことが必要であり、こうした意見交換会は、重要な研修の一つだ。

●会議とは別の形で、意見交換すること
も必要ではないか。

